

紀三井寺公園ネーミングライツ・パートナー募集要項

1. 募集目的

命名権（ネーミングライツ）とは、施設等に企業名や商品名等を含んだ愛称を命名する権利のことをいいます。

和歌山県では、命名権者（ネーミングライツ・パートナー）との協働のもとに、県有施設を有効に活用することにより、県の新たな歳入の確保と施設サービスの維持・向上を図ることを目的とし、次の施設について、愛称の命名権者を募集します。

2. 対象施設

施設名	紀三井寺公園内の①陸上競技場、②野球場、③補助競技場・球技場、④庭球場、⑤登はん競技場（公園の愛称は命名対象外）
所在地	和歌山県和歌山市毛見 200 番地
施設概要	別紙「施設概要」のとおり
ホームページ	https://www.kimiidera-park.com/#gsc.tab=0

3. 募集概要

（1）命名権の内容

対象5施設に、それぞれ企業名や商品名等を含んだ愛称を付けることができます。

対象5施設一括の応募が必要であり、各施設に対して単独応募はできません。

なお、愛称を命名する権利であり、和歌山県都市公園条例（昭和 34 年和歌山県条例第 32 号）に規定する施設名称を変更するものではありません。

（2）募集条件

①命名権料等

命名権料	・対象5施設一括で年額 2,000 万円以上（消費税及び地方消費税相当額を含む）を希望します。
愛称の使用期間	・令和9年4月1日から3年以上、5年以内とします。 ・使用期間は年単位とします。
命名条件	・対象5施設に、それぞれ企業名や商品名等を含んだ愛称を付けることができます。 ・県民に親しみやすく、各施設の競技、用途その他の特性に照らしてふさわしい愛称としてください。 ・各愛称は、愛称から対象となる施設を識別でき、対象5施設相互の混同を生じにくいものとしてください。 ・和歌山県広告事業要綱（平成 18 年制定）及び和歌山県広告事業掲載基準（平成 18 年制定）を遵守した愛称としてください。 ・利用者の混乱を避けるため、原則として契約期間中における愛称の変更はできません。 ・愛称の使用開始日から一定の期間（1 年間程度）は、県が作成する印刷物やホームページ等において、条例上の施設名称を併記させていただくことがあります。また、国際大会等においては、主催団体の規定により、条例上の施設名称を使用する場合があります。

命名権料の納付	・年度毎に一括払いにより納付するものとし、納付期限は毎年4月末までとします。なお、初年度については、県が指定する日までに納付してください。 ・その他詳細は、県と協議の上決定するものとします。
---------	--

②命名権者への特典

- ・当初の契約期間満了後、契約更新を希望する場合は、優先交渉権を付与します。
- ・その他対象施設使用に関する特典については、応募者からの提案を可能とし、別途県と協議の上決定するものとします。

なお、提案内容によっては、ご希望に添えない場合があります。

③愛称表示に伴う費用負担等

- ・愛称表示に伴う費用負担等は下表のとおりとし、命名権者の負担となるものについては、命名権料とは別にご負担いただきます。

区分	費用負担	施工	備考
公園敷地内への看板等の新設、新設看板等の維持管理	命名権者	命名権者	新設の可否や設置場所は協議の上、決定します
公園敷地内外看板等（既設看板や道路案内板等）の表示変更	命名権者	別途協議	県が管理者として設置したものに限りま
愛称使用期間終了後の原状回復	命名権者	別途協議	
県の印刷物や県のホームページの表示変更	県	県	原則として新規作成分を対象とし、変更可能なものについては随時対応していくこととします

※1 県が設置する看板や印刷物、ホームページの表示変更は、変更可能な表示について行うこととします。なお、施工の範囲、実施時期及び内容等については、別途協議の上、決定するものとします。例えば、決定された愛称によっては、設置する看板等に記載される愛称の前に公園名「紀三井寺公園」を追記していただく場合等があります。また、愛称使用の開始日において、表示変更が完了していない場合においても、命名権料及び使用期間に変更はありません。

※2 県が設置する道路案内看板の表示を変更する場合は、当該施設が表示されている全ての道路案内看板の表示を変更してください。

※3 屋外広告物条例等の法令の規定に基づき必要となる手続きや、県以外の主体が設置する道路案内看板等の表示変更に係る手続きについては、命名権者が関係機関と協議の上、ご対応いただくこととなりますのでご注意ください。

- ・上記以外に愛称表示に伴う費用が新たに生じた場合には、県と協議の上、決定するものとします。

④応募資格要件

次の要件を満たす法人又は法人により構成されたグループ（以下「法人等」といいます。）が応募いただけます。

ア 和歌山県広告事業掲載基準の2に規定する規制業種又は業者に該当しない者であること。

イ 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。

ウ 和歌山県が行う競争入札に関する指名停止又は資格停止の措置を受けていない

者であること。

- エ 和歌山県暴力団排除条例（平成 23 年 3 月 16 日和歌山県条例第 23 号）第 2 条第 1 項に掲げる暴力団に該当しない者であること。
- オ 会社更生法に基づき、更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき、再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。ただし、更生手続又は再生手続開始の決定後、入札参加資格の再認定を受けている者を除く。
- カ 国税又は地方税について滞納している者でないこと。

4. 申込方法

（1）受付期間

令和 8 年 10 月 6 日（火）午前 10 時から同年 12 月 4 日（金）午後 5 時まで
（必着）

（2）提出方法

- ・書類の提出方法は、郵送、持参又は電子メールとします。
- ・郵送の場合は、簡易書留等配達記録の残る方法により郵送してください。
- ・持参の場合の受付時間は、午前 9 時から午後 5 時まで（土・日曜日及び祝日を除く）とします。ただし、令和 8 年 10 月 6 日（火）は午前 10 時から受け付けます。
- ・電子メールの場合は、1 通当たりの容量を概ね 6 MB までとし、容量が大きい場合は複数回に分けて送信してください。複数回に分ける場合は、各メールの件名に法人等の名称及び送信番号・総数（例：全 3 通のうち 1 通目）を明記し、受付期間内に全てのメールが到着するようにしてください。送信後必ず電話連絡により全てのメールの到着確認を行ってください。

（3）提出書類

- ・申込に当たっては、以下の書類を県に提出していただきます。なお、県が必要と認める場合は、追加資料の提出を求めることがあります。
 - ①取得申込書（様式 1）
 - ②誓約書（様式 2）
 - ③役員等に関する調書（様式 3）
 - ④法人等の概要（定款、規約又はこれらに類する書類等）
 - ⑤申込の日の属する事業年度の前 3 事業年度における貸借対照表、収支決算書
その他法人等の財務状況を明らかにする書類及び事業報告書その他法人等の
業務の内容を明らかにする書類
 - ⑥登記事項証明書（商業登記簿謄本）
 - ⑦国税及び地方税について滞納がないことの証明書
 - ⑧地域貢献活動及びスポーツ振興に寄与する活動の実績並びに今後の計画を示す
書類（任意様式）
- ・提出書類⑥及び⑦は、申込書の提出日において発行から 3 か月以内のものを提出してください。
- ・郵送又は持参の場合は、正本 1 部を①から⑧の順にそれぞれ A 4 判のファイルに綴り提出してください。
- ・電子メールの場合は、名前で並び替えた際に①から⑧の順となるよう、ファイル名を付与した上で、送信してください。

（4）提出先

和歌山県県土整備部都市住宅局都市政策課管理調整班

住 所 〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

電 話 073-441-3230

FAX 073-441-3232

メール e0809001@pref.wakayama.lg.jp

(5) 質問の受付

募集要項に関する質問は、次のとおり受け付けます。

① 受付期間

令和8年11月20日（金）午後5時まで（土・日曜日及び祝日を除く）

② 受付方法

質問票（様式4）に記入の上、（4）提出先まで電子メール又はFAXにより提出してください。なお、提出後は必ず電話連絡により到着確認を行ってください。

③ 回答予定

質問に対する回答は随時、和歌山県県土整備部都市住宅局都市政策課ホームページへの掲載により公表します。

(6) その他申込に当たっての留意事項

① 申込に要する経費は全て応募者の負担とします。

② 提出された書類はお返しできません。

③ 提出された書類は選定過程で必要に応じ複写します。

④ 提出された書類は和歌山県情報公開条例（平成13年和歌山県条例第2号）の規定に基づき開示することがあります。

⑤ 広告代理店を通じての申込も可能とします。ただし、この場合、委任状（任意様式）を併せて提出してください。

また、県から広告代理店に対して手数料を支払うものではありません。

⑥ 提出書類の追加又は差替えは受付期間内に限り認めます。この場合、対象書類及び追加又は変更の内容を任意様式により明示の上、（2）に定める方法により、受付期間内に追加する書類又は差替え後の書類を（4）の提出先へ提出してください。

5. 選定方法等

(1) 選定方法

提出いただいた書類をもとに、必要に応じて外部の専門家等に意見聴取の上、県が設置する選定委員会において応募者、愛称、命名権料、地域貢献等の応募内容を総合的に審査し、評価点が最も高い者を命名権者候補者として選定します。

また、応募が一者のみであった場合でも、選定委員会において審査を行うこととし、ふさわしい提案がなかった場合には、命名権者候補者を選定しないことがあります。

なお、選定委員会において意見が付された場合は、当該意見に従い提案内容を変更することを条件として、命名権者候補者を選定する場合があります。

(2) 審査項目・審査基準等

別紙「審査項目・審査基準等」のとおりとします。

(3) 選定結果の通知

選定結果については、全ての応募者に文書で通知します。

6. 契約の締結

県は選定された命名権者候補者と協議を行い、合意に至り次第、命名権者と決定し、決定した命名権者との間で契約を締結します。

また、契約の締結に当たっては、決定した命名権者の名称、施設の愛称、命名権料及び契約期間等を公表します。

なお、合意の可能性がないと県が判断した場合には、当該候補者との協議を打ち切り、次順位の候補者と契約内容について協議を行うものとします。

7. 契約の解除等

命名権者又は命名権者候補者が、応募資格を欠くこととなった場合や社会的信用を損なう行為等により施設のイメージが損なわれる恐れがある場合など、命名権者として適当でないと認められるときは、県は契約の解除又は命名権者候補者の取消しを行うことができることとします。

この契約解除の場合、違約金として、契約期間中の命名権料総額（一部が納付されているときはその額を控除した額）の10%に相当する額の支払いを求めるものとします。

また、この場合、納付済みの命名権料は返還しません。

8. その他

この募集要項に記載のない事項については、和歌山県広告事業要綱（平成18年制定）及び和歌山県広告事業掲載基準に従って取り扱います。

<施設概要>

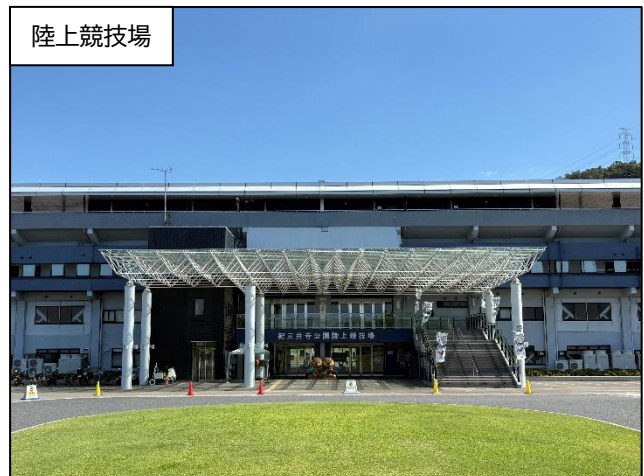
項目	内容
公園名	紀三井寺公園（公園の愛称は命名対象外）
所在地	和歌山県和歌山市毛見 200 番地
公園管理者	紀の国はまゆう ※指定管理
募集対象	次の 5 施設を一括して募集

施設名	主な施設・規模	年間利用者数	利用実績
陸上競技場	第 1 種公認、400m×9 レーン、約 19,200 人収容、天然芝、夜間照明、大型映像装置	令和 5 年度 69,184 人 令和 6 年度 62,037 人 令和 7 年度 81,391 人	○和歌山県陸上競技選手権大会 ○天皇杯サッカー ○高校サッカー、高校ラグビー選手権大会 ○西田修平陸上記念大会 ○パンダマラソン ○ジュニア駅伝
野球場	両翼 98m、中堅 120m、約 13,200 人収容	令和 5 年度 44,125 人 令和 6 年度 53,718 人 令和 7 年度 45,488 人	○全国高校野球和歌山県予選 ○オリックスファーム公式戦 ○春季・秋季近畿地区高校野球県予選
補助競技場・球技場	第 3 種公認、400m×8 レーン、天然芝、サッカー105m×68m、観客席なし	令和 5 年度 45,371 人 令和 6 年度 40,446 人 令和 7 年度 37,467 人	○中学通信陸上競技大会 ○高校サッカー、ラグビー選手権大会
庭球場	砂入り人工芝 8 面、夜間照明、観客席約 500 人	令和 5 年度 26,996 人 令和 6 年度 26,838 人 令和 7 年度 27,450 人	○県テニス選手権大会 ○車イステニス大会
登はん競技場	壁 2 面（競技壁・練習壁）、高さ約 12m	令和 5 年度 1,027 人 令和 6 年度 709 人 令和 7 年度 766 人	○高校スポーツクライミング大会 ○クライミング初心者体験会

<公園敷地内看板等の新設及び表示変更に係る想定場所及び数量>

施設名	想定場所及び数量
陸上競技場	正面 1 か所
野球場	正面 1 か所
補助競技場・球技場	主な出入口付近 1 か所
庭球場	主な出入口付近 1 か所
登はん競技場	施設囲みフェンス 1 か所

※公園敷地内看板等に係る新設及び表示変更に係る想定場所及び数量のみ明示しておりますが、公園敷地外も上記 3 (2) ③のとおり変更を想定している。



<審査項目・審査基準等>

1. 審査項目・審査基準と配点

	配点	審査項目	審査基準	個別点
応募者	40	経営の安定性	過去３年間を通して、安定した利益を上げているか （過去３カ年の経常利益の推移等）	10
			過去３年間を通して、安定した経営を行っているか （過去３カ年の自己資本比率等）	10
		地域貢献	地域に根差した企業活動を行い、地域の発展に寄与する活動を行っているか、今後活動する意欲があるか	10
		(県内での実績)	上記項目について、和歌山県内での活動実績があるか	5
		スポーツ振興	スポーツ振興に寄与する活動を行っているか、今後活動する意欲があるか	5
愛称	20	親しみやすさ・適合性	県民に親しみやすく、各施設の競技、用途その他の特性に照らしてふさわしいものとなっているか	10
		識別性	愛称から対象となる施設を識別でき、対象５施設相互の混同を生じにくいものとなっているか	5
		呼びやすさ	発音しやすく、受け手にとって聞き取りやすいものとなっているか	5
契約条件	40	命名権料	２．評価方法による	30
		契約期間	２．評価方法による	10
合計				100

※愛称に関する各審査項目は、対象5施設の愛称を一括して総合評価します。

2. 評価方法

審査基準	評価方法																		
命名権料	①応募金額（年額）が最高である者を1位として満点の30点を付与する。 ②①以外の応募金額の場合は、1位の金額（最高応募金額）を用いて、下記算定式（小数点以下第1位を四捨五入）により得点を算出する。 ③応募が1者のみの場合で応募金額が県希望金額未満の場合には、最高応募金額を県希望額に置き換えて得点を算出する。 【算定式】得点＝30点×（当該応募金額／最高応募金額） （算出例① 応募者が複数の場合） A者：応募金額 2,200 万円 【得点】30点 B者：応募金額 2,000 万円 【得点】27点 【算定式】得点＝30点×（2,000万円／2,200万円）＝27.3点 →27点 （算出例② 応募者が1者のみで応募金額が県希望金額未満の場合） 県希望金額 2,000 万円 C者：応募金額 1,000 万円 【得点】15点 【算定式】得点＝30点×（1,000万円／2,000万円）																		
契約期間	次のとおり評価する。 5年：10点 4年：7点 3年：4点																		
経営の安定性 地域貢献 スポーツ振興 親しみやすさ・適合性 識別性 呼びやすさ	次のとおり5段階で評価する。 <table><tr><th></th><th>個別点 10 点</th><th>個別点 5 点</th></tr><tr><td>特に優れている</td><td>10</td><td>5</td></tr><tr><td>優れている</td><td>8</td><td>4</td></tr><tr><td>やや優れている</td><td>6</td><td>3</td></tr><tr><td>やや劣っている</td><td>4</td><td>2</td></tr><tr><td>劣っている</td><td>2</td><td>1</td></tr></table>		個別点 10 点	個別点 5 点	特に優れている	10	5	優れている	8	4	やや優れている	6	3	やや劣っている	4	2	劣っている	2	1
	個別点 10 点	個別点 5 点																	
特に優れている	10	5																	
優れている	8	4																	
やや優れている	6	3																	
やや劣っている	4	2																	
劣っている	2	1																	
(県内での実績)	和歌山県内での活動実績がある場合、下記算定式により算出した得点を加点する。 【算定式】地域貢献の得点×0.5 （算出例①） 地域貢献の得点：6点 県内での活動実績：あり 【得点】3点 【算定式】得点＝6点×0.5 （算出例②） 地域貢献の得点：8点 県内での活動実績：なし 【得点】0点 ➡ 地域貢献の得点と合わせると①は9点、②は8点となる																		

3. 留意事項

次に該当する場合には命名権者候補者として選定しない。

- （1）応募者が1者のみで、応募金額が県の希望金額の50%未満となる場合
（審査項目「命名権料」における配点30点に対し、15点未満となる場合に相当）
- （2）合計の得点が60点未満の場合